

山ごころ

大滝せせらぎ

里ごころ

はたおと秩父

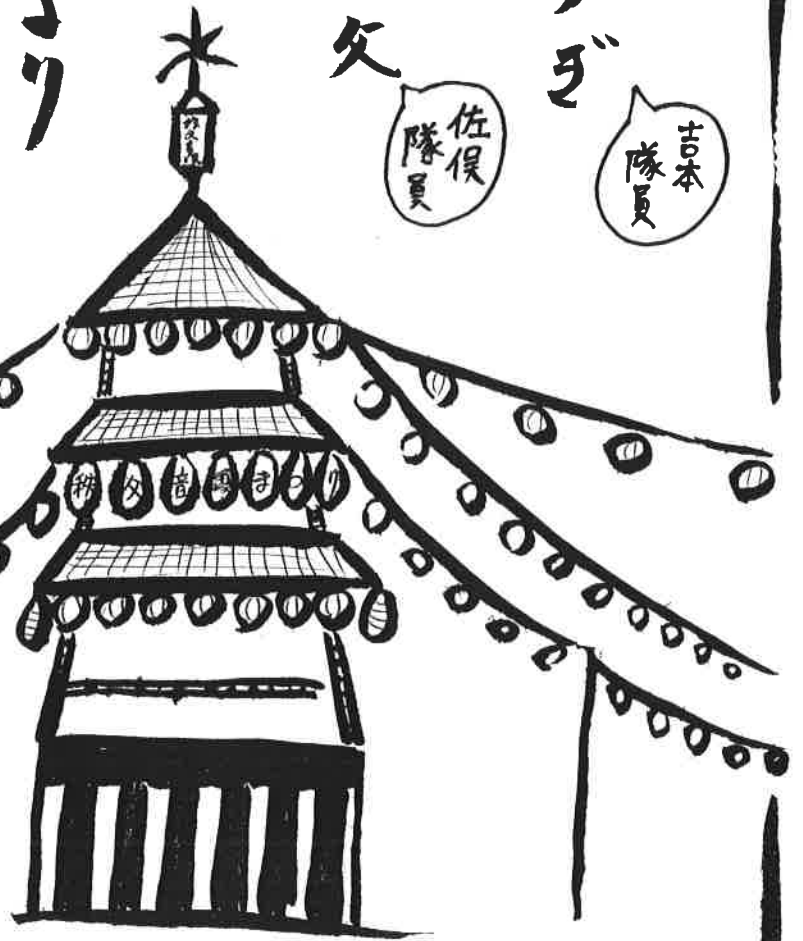
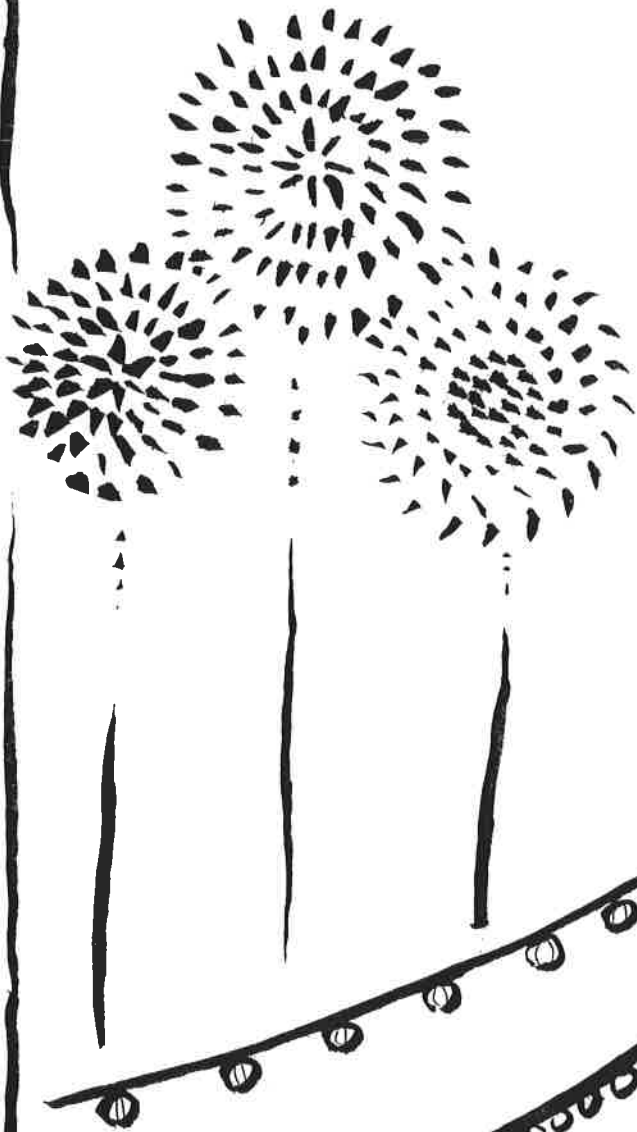
秩父市

地域おこし

協力隊長より

吉本
隊員

佐俣
隊員



秩父音頭のふるさと
——皆野町。

「秩父音頭まわり」

毎年8月14日開催。

No.34
(9月号)

協力隊も
参加して頂きます!

ミュージカルの大滝

少し先の告知になります。来月10月25日、大滝体育館にてミュージカルが開催されます！題名は「ふるまらばうエティ」と山と川と畑と暮らし」で、大滝地域に物住してきた青年が大滝の歴史や魅力に触れ合っていく中で、大滝に対する考え方も変えていく、というお話です。

小学校、中学校が無く寂しくなっていく大滝について、考え直すきっかけになる作品です。ぜひ足をお運びください！！

前売り券は私も持っています。ご連絡お待ちします。
😊

告知 ふるまらばうエティ～山と川と畑と暮らし～

会場：秩父市大滝体育館
 開催日時：2015年10月25日 開場：13:30 開演：14:00
 入場料：2,000円
 出演：新生ふるまら
 主催：ふるまらばうエティ「山と川と畑と暮らし」上演実行委員会
 後演：秩父市、秩父市教育委員会

ナイトバガール

秩父市街のみやのかわ商店街では毎年4・6・8・10月の第三土曜日にナイトバガールを開催しています。ミニコンサートやダンスなど楽しいイベントが盛り沢山で、地元の方を中心に多くのお客さんで賑わいます。

8月15日にも、みやのかわナイトバガールは予定通り開催されました。ちょうどお盆の時期で帰省客が多く、いつもより賑わっていたように感じました。私は今回は、栃本で栽培した紫イモ（ジャガイモの一種）で作ったイモでんかくを販売しました😊

釜戸で炊飯！

栃本の古民家にあった古い釜戸で炊飯を炊きました。初めてだったので、上手に炊けて、美味しい炊飯が頂けました😊



秩父市地域おこし協力隊
 吉本隆久
 X-TEL: ccb.localact@gmail.com
 TEL: 0494-55-0662
 Fax: 0494-55-0172
 秩父市地域おこし協力隊
 「いいね」をたくさんお願いします！



父秩とはおとこ

秩父に新しい工房ができました！

Handweaver
Magnetic Poie

秩父に新しい工房ができました！ 秩父太織を長年やら
れている北村さんと、私の前任・もと地域おこし協力隊の
南さんがお二人で開いた工房です！ 蕨から糸引まをし、
草木で糸を染めて手織で作る秩父太織に、スウェーデン織
技術を組み合わせた新しい作品作りをされています。
フェイスブックページにて情報発信もされていますので、せ
ひぜひちエックワシてみて下さい。

銘仙豆知識

出張販売の始まりは

秩父？

方々を売り歩くとと言うと富山の葉売りが有名ですが
秩父でも江戸時代から出張販売を行っていたそうです。
江戸時代では外面よりも内面重視で、生地が堅牢さか
ら幕府の衣冠束帯に根古屋絹（根古屋は横瀬町にあっ
た城の名前）が使われて、参勤交代で江戸に来た諸国
大名がその質をほめ評判になりました。そこで秩父で
は出張販売を行うようになったそうです。

参考：秩父織物工業組合史



活動報告発表と本の出版

8月18日（火）に総務省講堂にて「地域おこし
協力隊受入れ及び集落支援員設置（予定）の自治
体向け全国研修会並びに地域おこし協力隊推進会
議」が行われ、活動報告とディスプレイで登
壇していただきました。想像以上の人数と広さに
緊張し、また他の協力隊の方は地域をまきこんだ
大きな活動をされていて、反省材料を沢山もらっ
て帰ってきましたが、とても良い経験になりました。
私も対馬の協力隊の方がお話されていたような
一人の100歩ではなくみんなの1歩が踏める活動をし
ていきたいと改めて思いました。

また、8月26日（水）に「地域おこし協力隊日本
を元気にする60人の挑戦」という本が出版されまし
た。その中の「地域をおこす60人の仕事」という章
で2ページ分くらい活動報告をもらいました。
全国の協力隊の活動や、受入自治体の取組などがよ
く分かり一冊になってますので、よろしければぜひ
読んでみて下さい。

お問い合わせ

秩父市役所商工課

地域おこし協力隊

佐俣 菜津子

TEL: 0494-2515208

秩父歳時記 9月

秩父はお祭の多い町!!! その一部をご紹介します!

月読祭

開催日：旧暦8月15日

秩父市大滝地域にある三峯神社で行われる十五夜のお祭です。縁側に団子の高盛り、果物など供えもの十数台を飾り、寅のついた栗の枝、尾花(ススキ)・萱(わら)に秋の花々をそえて花瓶に立てし、その前で観月稚業演奏と、奉納舞が行われます。

〈十五夜について〉

旧暦8月15日に月を愛でる十五夜の月見は、唐の時代に中国から伝わってきた月見の祭事と、古来日本にあった月を祀る慣習が合わさったものだそうです。昔は貴族たちが水や杯に映る月を楽しんでいて、町民に広まったのは江戸時代の頃だそうです。

月見というと旧暦8月15日の中秋の名月だけでなく、旧暦9月13日の十三夜も愛でるのが風流とされます。この二つを合わせて二夜の月といい、十三夜を見逃すことは、片月見として忌み嫌われ、片方しか見ないのは不吉

といわれました。十五夜と共に過ごした男女が、次の十三夜も一緒に約束した恋のイベントでもあったそうです。

また、昔は地域によつては供えた団子を盗んでよいという地域もあつたそうです。盗まれた家でも供物がなくなると月が食べてくれたと考え縁起が良いとか、盗んだ団子を食べると健康でいられるという所もあつたそうです。今は犯罪になりかねないのでやめましょう!!

参考図書「三省堂年中行事事典(改訂版)2012年11月」

「暮らしのなうわし十二か月」飛鳥新社 2014年4月

巫せさんのステキな舞も見られます。

